
スパークルと不思議な鉈

もいやん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スパイテルと不思議な錠

【Nコード】

N0999K

【作者名】

もいちゃん

【あらすじ】

世界の国々つまり、この世の事を万国と呼んでいる世界。万国では地域どうしの戦争や地域内の内乱など戦火が絶えず混沌としていた。

砂漠が地域の大半を占める砂地域で、この地域の財政を切り盛りする楊天山（ヤンニテンシャン）という文官の若者が砂地域の首領・砂の皇子になるために、ある命令を言い渡される。

それは、砂地域と万国の和平同盟の締結。

不思議な力を持つ、身元不明の少女・ほたるをお供に万国を股にかけた冒険活劇。

プロローグ

万国での戦乱が何百年も続いている混沌とした時代。

砂漠が大半を占める砂地域でも、地域の首領である砂の皇子が万国の覇権を握ろうと他地域を武力で脅かし、内政はやりたい放題であった。

その世を嘆いた砂地域の高名な予言者は世を鎮めるため嘘の予言を万国に告げた。

「戦火と人の血が万国に広がり、いにしえの破壊神がこの世によみがえりつつある。天中に復活の紅星が輝くとき、破壊神は目を覚まし万国は終わる。」

人々は恐怖の予言に震撼したが自国の戦いを侮蔑されたと激怒した砂の皇子は予言者を投獄した。この予言はでっち上げだと暴露されて、時が経つにつれ人々の記憶からも忘れさられていった…

暴君だった前・砂の皇子、孫氏が現・砂の皇子、李龍換（リ＝ロンファン）に倒され、二十年が経とうとしていた。国内は五つの部族がうまく調和したことで表面上は平和であった。しかし跡目争いという火種がくすぶりを上げようとしていた。砂の皇子には子供がおらず、各部族長の誇る優秀な子息達が名乗りを上げていた。

そして、一見跡目争いに何の関係もないひとりの若者が介入する事で物語の歯車が動き出す。

この世のすべて、万国を舞台とした物語が今始まる。

小路に吹く風（前書き）

太陽が輝く。

空気が烧ける。

蒼空は澄み渡り、風は熱と砂を帯びてオアシスに吹き込む。

街中といえども、風はオアシスの外の砂漠の砂を巻き込み石の街路をなでてゆく。

街は白を基調とした石の建物が並び、灼熱の太陽の下、物見客を伴った露天が立ち並ぶ大通りを風が吹き抜けてゆく。

大通りは砂混じりの風も、灼けるような空気もお構いなしに、人で活気づいている。

風はそのまま活気づき、熱気のあるその大通りからはずれた小路へ引き込まれてゆく。人気はなく、砂漠の街のゆったりとした午後が流れている空間でポツンと露天商を営んでいる老婆がただ一人、布で隠した顔を伏せて身じろぎせず、砂の混じった緩やかな熱風を受け止めていた。

風がやむと、老婆は勢いよく顔を上げ不機嫌さを隠そうともせずと言った。

「遅い！約束の時間を半刻過ぎているよ。」

老婆が顔を上げた正面には眼鏡をかけた角刈りの大柄な男が、汗だくになって仁王立ちしていた。

「も、申し訳ありません。自分、西ではなく東大通りと勘違いして

たもんで」

「黙りな！言い訳はいらない。うまくやったのか、それだけを伝えなと毎回言ってるだろ！」

男はたじろぎつつ、答えたものだから老婆の癢に障ったのだろう。声は押し殺していても明らかに怒気が含まれている。

「まったく、いつまで経つてもお前たちは半人前だよ！いつになったら私は隠居出来るんだい？」

男は相変わらずたじろいだ様子だが、口は弧を描いて嬉々として言った。

「聞いてくださいませ。兄者達はやり遂げました。しかも、募集枠5人分を手にすることに成功しました！」

老婆はこの事態に歓喜と驚きを露わにした。「何だつて?!全員分取ることができたのかい。上々だよ。やりゃあ出来るじゃないか。」

こんなチャンスは二度と巡ってこない。時間はまだある。万全の体制で事に臨まなければ。

老婆は勢い良く立ち上がりつつ、顔を覆う布を巻きなおし、店の後ろに備え付けてあったスクーターに跨った。

「私はこれから準備に入る。お前はその店を片してから合流しな。」
言うが早いかスクーターは轟音とともに走り去り、男は露天とともに小路にポツンと残された。小路にはスクーターの発進で砂が巻きあがり、再び一陣の風が吹き抜けて砂が小路の奥に吸い込まれていた。

「…怖かった」男がつぶやいた言葉は誰の耳にも届かず、ただ風に流されていった。

小路に吹く風

万国での戦乱が何百年も続いている混沌とした時代。

砂漠が大半を占める砂地域でも、地域の首領である砂の皇子が万国の覇権を握ろうと他地域を武力で脅かし、内政はやりたい放題であった。

その世を嘆いた砂地域の高名な予言者は世を鎮めるため嘘の予言を万国に告げた。

「戦火と人の血が万国に広がり、いにしえの破壊神がこの世によみがえりつつある。天中に復活の紅星が輝くとき、破壊神は目を覚まし万国は終わる。」

人々は恐怖の予言に震撼したが自国の戦いを侮蔑されたと激怒した砂の皇子は予言者を投獄した。この予言はでっち上げだと暴露されて、時が経つにつれ人々の記憶からも忘れさられていった…

暴君だった前・砂の皇子、孫氏が現・砂の皇子、李龍換（リ＝ロンファン）に倒され、二十年が経とうとしていた。国内は五つの部族がうまく調和したことで表面上は平和であった。しかし跡目争いという火種がくすぶりを上げようとしていた。砂の皇子には子供がおらず、各部族長の誇る優秀な子息達が名乗りを上げていた。

そして、一見跡目争いに何の関係もないひとりの若者が介入する事で物語の歯車が動き出す。

この世のすべて、万国を舞台とした物語が今始まる。

小路に吹く風（後書き）

主人公がまだ出てません。長い目でみてやってくださいます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0999k/>

スパーテルと不思議な錠

2010年10月9日22時35分発行